

平成28年度 学力向上推進プラン 4年

		学年の目標	2学期末の児童の様子	学年末の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の定着を図るために、ミニテストを定期的実施し、学年末テストで90点以上を合格として、8割の児童が合格できることを目指します。 学習して身に付けた読み書きの力を生活に生かせるようにすると共に、日常的に書く力を高めるために、日記を書く活動を日常的に行います。そして、主語・述語の関係が成り立っている文を書くこと。様々な種類の文章を書くこと。既習の漢字を使って書くことを重点的に指導していきます。日記は週に2回実施していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の定着を図るために、ミニテストを定期的実施し、2学期末テストでは90点以上を獲得した児童が6割であった。不合格であった児童は、放課後に習熟を図った。 日記はテーマを設け、主語・述語の関係が成り立っている文を書くこと。様々な種類の文章を書くこと。既習の漢字を使って書くことを重点的に指導し、週に2回実施してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ミニテストを実施したり家庭学習週間中にプリントを配布したりして習熟を図っている。ミニテストの合格(満点率)は、4.5割である。学期末に向けて再テスト等行いながら、習熟を図っていく。 2学期から継続して週に2回日記を実施している。文章量が増えたり短時間で内容が豊かな文章を書いたりする児童が増えてきた。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 計算スキルを活用して、既習事項の定着を図ります。必ず〇付けを行って間違いを直す習慣を付けられるようにします。 東京ベーシックドリルを活用して、3年生までの基礎的な学習内容の習得を目指します。9割の児童が80点以上獲得できるようにします。できなかった児童には、個別に補習を行って習熟を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 算数の授業の冒頭に毎時間行ってきた。 東京ベーシックドリルのテストでは、80点以上獲得できた児童が全体の3割であった。できなかった児童には、個別に補習を行い、習熟を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習期間中、復習プリントを毎日実施し、間違い直しをするなどして習熟を図っている。また、放課後や給食準備中に個別に補習を行っている。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な事象についての知識を身に付けさせるために、都道府県の位置や名前を覚えられるよう、カルタやパズルを用いて日常的に習熟していきます。また、地方ごとの白地図を用いたミニテストを実施していきます。学年末までに100%の定着を図ります。 自然事象についての知識を身に付けさせるために、ゲストティーチャーを招いて、篠崎公園にて年間4回校外学習を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県の位置や名前を覚えられるよう、カルタやパズルを用いたり、地方ごとの白地図を用いたミニテストを実施したりして、日常的に習熟してきた。2学期末のテストでは、8割の児童に定着が見られた。3学期も引き続き100%の定着を目指し、習熟を図っていく。 2学期末までに、篠崎公園にてゲストティーチャーを招いて、3回の校外学習を行い、自然事象についての知識を身に付けさせる活動を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会科や理科の既習事項を復習プリント等で確認し、習熟を図っている。 篠崎公園にてゲストティーチャーを招いての自然観察を4回終え、自然事象についての知識を身に付けさせる活動を行った。
思考力・判断力・表現力	【問題解決的な学習】	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題に対して、追求していく学習方法が身に付けられるよう、学習のめあてをもち、ふり返るとい活動継続的に行います。また、学習問題や予想を立てることも指導していきます。 意図的にグラフなどの資料を提示して問題解決学習を多く取り入れ、自分で解き方を考える時間を十分にとっていきます。 調べたことなどをグラフや表、図鑑作りや新聞に表す学習などを多く取り入れ、情報や自分の考えを表現する力を高められるように指導していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 【問題解決的な学習】 学習課題に対して、追求していく学習方法が身に付けられるよう、国語や算数の学習では、めあてをもち、ふり返るとい活動を継続的に行ってきた。また、理科や社会では、学習問題や予想を立てることも指導していった。 算数や理科、社会の学習にて、グラフなどの資料を提示して問題解決学習を多く取り入れ、自分で解き方を考える時間を十分にとってきた。 総合的な学習の時間の学習や、社会、国語の学習にて、調べたことなどをグラフや表、図鑑作りや新聞に表す学習などを多く取り入れ、情報や自分の考えを表現する力を高められるように指導してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 【問題解決的な学習】 自分の課題を解決すべく、学習中に友達と意見を活発に交流し、その中で自分の考えを見直し学びを充実させる姿が多く見られるようになった。 総合的な学習の時間の課題解決に、各教科で学んだことを生かしている。
	【ノート指導】	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の筋道がわかるノートを作りが行えるように指導していきます。ノートを定期的に回収して、モデルとなるノートを提示していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 【ノート指導】 各教科の学習において、問題解決の筋道がわかるノートを作りが行えるように指導し、ノートを定期的に回収して、モデルとなるノートを提示していった。 	<ul style="list-style-type: none"> 【ノート指導】 授業中の教師の話や友達の意見、自分の考え等を、板書の他にもメモをし、学びの過程が見えるノートを書ける児童が増えてきた。
学習習慣・学習規律	<ul style="list-style-type: none"> 〇授業が始まってから、短時間で集中できるようにするために、毎時間、学習のめあてをノートにきちんと書かせ、声に出して読むことを指導し、習慣化できるようにしていきます。 〇話すこと・聞くことの大切さを意識化させるために、聞いている人の方を向いて話すこと。相手の話を聞いて話すこと。話している人の方を向いて聞くこと。を指導していきます。 〇既習事項の定着を図るために、宿題提出率100%を目指し、自主学習に進んで取り組めるようにする。そのために、家庭学習週間で自主学習を行う機会を設定して、段階的に自主学習の取り組み方やその内容を指導していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 〇毎時間、学習のめあてをノートにきちんと書かせ、声に出して読むことを習慣化し、授業が始まってから、短時間で集中できるようになってきた。 〇聞いている人の方を向いて話すこと。相手の話を聞いて話すこと。話している人の方を向いて聞くこと。を習慣化させ、話すこと・聞くことの大切さを意識化させることができた。 〇家庭学習週間で自主学習を行う機会を設定し、段階的に自主学習の取り組み方を指導したり、既習事項の定着を図ってきた。また、毎日提出の確認を行い、未提出の児童には個別に声をかけたり補習を行ったりしてきた。その結果、宿題を提出している児童は9割であった。引き続き指導を行い、100%を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業規律は良く整い、落ち着いて学習に取り組んでいる。 ・友達との意見交流が活発になり、相手の話を聞いたり、相手に分かりやすく伝えたりするためのスキルが身につけてきた。 ・現在も提出率は9割であるが、家庭学習で自ら課題を決めて取り組める児童は増えてきている。未提出の児童には、引き続き声掛け、補習等を行っていく。 	